

歯の土台を電鋳法で作製するドイッ製システム「ウォールセラムE LCII」写し

歯の土台を電鋳法で作製するドイッ製システム「ウォールセラムE LCII」写し

また従来法では耐火模型を作製する必要があり、完成までに約16時間かかっているが、同システム

「利田三美務」という。同社でも各種オールセラミックス製品を扱っており、取り組みを強化する狙いで同システムの導入を決めた。

システム開発、O A機器販売、ウェブ制作など、社員個々の強みを生かし、犯罪の起

△は、通報から事件の周知、避難までに6時間かかっており、瞬時に

システムを提案している。03年は女性向け携帯

新しい通報周知城南町72・5▽従立03

# 産学官連携

▶81

## テーマ合い共同開発

津田 欣範社長に聞く



学生ならではの面白い視点を期待している...と津田さん

## 改良、理論付けを

製品化一番乗りを目指す

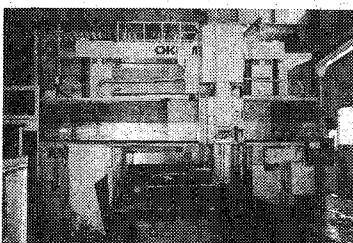
「共同開発先を探索していたわけでもないが、このままでは宝の持ち腐れになってしまうと悩んでいた。中小企業が新規開発を始めるのに課題となるのが、資金、開発スペース。開発テーマを持っていても、これら

「具体的には、評価試験を行いたがら改良、理論付けと、学生ならではの面白い視点を期待している」

「開発テーマは注目されませんね。」

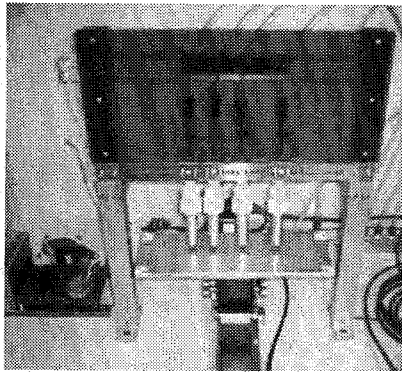
「現在、特許出願中。」

「ユーザの共通の悩みを解決するシステムとして、製品化一番乗りを目指したい」



【福山】中鉄工所(広島県尾道市、中元治社長0848-481511)は、最新鋭の5面加工機(写真)を導入した。液晶

中鉄工所 5面加工機と液晶関連の加



製品化を目指す表面有機物除去システム

# ヒューズ・テクノネット

表面有機物除去システムを開発している。同システムは、液晶製造のガラス基板洗浄

「3年春、液晶製造装置メーカーが持つ共通の悩みを解決するシステムの開発に乗り出した。成蹊大学工学部電気電子工学

「03年2月に東京都の新製品・新技術開発助成事業に申請した。それを機に東京都中小企業振興

「2年間の実験を経て、津田社長は「今はガラス基板を対象だが、塗装やフィルムの分野などに用途を広げていきたい」と期待する。

現在成蹊大学の斎藤氏▽主な事業▽各種ガス供給装置、真空技術利用機器の設計・製造・販売

▽本社 東京都八王子市、0426-75757

製造装置関連の加工受注の増大に対応した。設備額は約1億4000万円。幅3000mm、高さ1800mm、長さ8000mmまでの大物加工が可能。今回の導入で5面加工機は6台目で、中国四

先利常に備

## 大気圧プラズマで除去

成蹊大 斎藤教授と 照射装置を開発・実験

そんな時、地球温暖化ガスの無害化装置の開発で扱っていた大気圧プラズマの応用を思いついた。「大気圧プラズマな

本格的に照射装置を開発する価値はあると考えた」と振り返る。実際、UVランプと大

それぞれ照射後の基板上に水滴を落とし実験したところ、大気圧プラズマの方が、広が

「洗浄度が高いことが分かった。有機物が少ない

「洗浄度が高いことが分かった。有機物が少ない

「洗浄度が高いことが分かった。有機物が少ない

「洗浄度が高いことが分かった。有機物が少ない

# 中堅・中小・ベンチャー

「洗浄度が高いことが分かった。有機物が少ない